

# 二葉 東京支部だより

第 22 号

平成 29 年 8 月 15 日発行  
諏訪二葉高等学校同窓会  
東京支部編集委員会

題字 今井 綾子(高女 28 回)

## 同窓会は様々な喜びを与えてくれる存在

東京支部長 五味 のりほ

会員の皆様には、ますますお健やかにすごしのことと存じます。

まず初めに、会員の皆様のご協力により、平成 29 年東京支部総会を無事に終了できましたことに、厚く御礼申し上げます。

総会では、平成 29 年度から維持費を 2,000 円に改定すること、29 年度役員を選出方法は、輪番制を基本的とし、輪番制で選出出来なかった場合は輪番制に加えて自薦・他薦により選出することについてご承認を頂きました。

さて、母校は今年創立 110 周年の記念の年を迎えました。心よりお祝い申し上げます。

東京支部もまた、昭和 25 年 4 月に再設立されてからまもなく 70 周年を迎えようとしています。この間、財政面の厳しさ、役員を選出の難しさなど多くの課題に直面しながらも途切れることなく脈々と続いてきました。

同窓会に対する思いは人それぞれでありますし、同窓会には関心がない方もいます。昨年一年間役員として同窓会に参加し、先輩方の知性に溢れ颯爽とした姿に出会うことができました。真摯に頑張る若い同窓生に出会う

こともできました。

また、私事ですが 10 年近く続いている 25 回生の同期会は大きな楽しみとなっています。

豊かに水をたたえる諏訪湖のように、同窓会とはそこにあって様々な喜びを与えてくれる存在であると思います。遠く離れても、波のさざめきが胸に浮かびます。

私たちの同窓会です。総会にぜひ多くの方々にご出席いただきますようお願いいたします。また、久しぶりに同期会などを開いてみませんか。東京支部では、初めて同期会などを開催する場合の通信費を予算化しております。同期会の楽しさこそが、同窓会の基礎ではないかと考えております。どうぞお気軽にご相談ください。

最後に、今年度は、維持費が 2,000 円に改定されたことを会員の皆様にご理解頂き、維持費の納入率の向上を図ることに努めて活動していきたいと思えます。

会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



総会で傘寿の皆様にご贈られた花束

## 豊かな支部活動の源として ～維持費ご協力のお願い～

東京支部長 五味 のりほ

同窓会東京支部の維持費は、平成 2 年度から 27 年間に亘り 1,000 円でした。

しかし、近年の維持費納入額は、平成 18 年度は 163 万円でしたが、平成 23 年度は 131 万円、平成 28 年度では賛助会費 25 万円を加えて 98 万円と、激減しています。

これから先、会員数が増加することは考えにくく、維持費納入率の向上が大きな課題となっています。平成 28 年度は賛助会費納入者を加えて 29%でした。納入率が上がらなければ、1,000 円の維持費のままでは毎年およそ 140 万円の支部活動経費を維持していくことはできません。

平成 28 年度に、東京支部会員の全員 3,669 名に支部の活動に対するアンケート調査を行い、445 名の方からご回答を頂きました。会費については 2,000 円に改定することに賛成の方は 47%、反対の方は 40%でした。他に

も多くのご意見をお寄せ頂きました。さらに、11 月の幹事会においても議論を重ね、様々なご意見を受けて、平成 29 年総会に維持費を 1,000 円から 2,000 円に改定する議案を提出いたしました。

総会では、出席者数(採決時点)131 名のうち、賛成 129 名の挙手により、維持費は平成 29 年度より 2,000 円に改定することをご承認頂きました。今回の改定が、10 年先あるいはそれ以上先の未来においても、豊かな支部活動の源となるものであることを願っております。

なお、80 歳を迎えられた会員の皆様には、任意でございますが、賛助会費として 1,000 円からのご支援をお願いいたします。

この度の維持費の改定にあたり、東京支部会員の皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

# 「本朝うた語り抄」より『信太妻』

朗読家 齊藤 由織氏  
(諏訪二葉高等学校 27 回生)

第一部の公演は、諏訪二葉高校 27 回生で、東京支部の事務局としてご尽力いただいております。朗読家の齊藤由織氏をお迎えしました。

高校では放送委員会に所属、NHK 全国高校放送コンテスト朗読部門出場をきっかけに朗読を始められ、日大芸術学部在学中より西澤實氏に師事し、現在は定期公演の他、様々な朗読会を主催、客演されています。またフジテレビアナウンサーによる朗読舞台「ラブシーン」の朗読指導を経て、プロ、アマチュアの指導で活躍されています。

演目の「本朝うた語り抄」より『信太妻』は、歌舞伎の「声

屋道満大内鑑 葛の葉として有名な作品ですが、もともとは江戸時代に大流行した説教節として語られていたものです。恩師西澤實氏の脚本で語っていただきました。

物語は、安倍保名(あべのやすな)という若者が信太の森で狐を助ける場面から始まりました。その狐は葛の葉という女の姿になり、恩返しのために、瀕死の保名を懸命に看病し命を救います。やがて夫婦となり、後の陰陽師安倍晴明となる子をもつけますが、狐の姿を見られてしまい、断腸の思いで愛する夫や子の元を去り、信太の森へ帰るといってお話です。

最後に、声優・俳優・アナウンサーにはおなじみの練習法「外郎売(ういろうり)」を披露していただきました。長文の早口言葉を一気に語られた発音と滑舌の素晴らしさに、目を見張りました。齊藤さん、ありがとうございました。(野尻)



特に、葛の葉の揺れる女心を見事に表現されたのが印象に残りました。会員の皆様も目を閉じ情景を浮かべながら鑑賞されるなど、思い通りに堪能され迫力ある熱演に大きな拍手が送られました。

最後に、声優・俳優・アナウンサーにはおなじみの練習法「外郎売(ういろうり)」を披露していただきました。長文の早口言葉を一気に語られた発音と滑舌の素晴らしさに、目を見張りました。齊藤さん、ありがとうございました。(野尻)

最後に、盛大な拍手が送られました。

第三部の傘寿を祝う会は、高校 8 回生 15 名の皆様に祝し、花束が贈られました。代表して宮川秀世様より「東京支部の歴史とこれからの支部活性化に期待し、今後とも支援します」と熱き思いが語られ、東京支部への寄付金が贈呈されました。



着物姿で現れた齊藤さん。ひとりの声で情感豊かに何役も演じ分ける表現力は素晴らしく、物語の世界へ引き込まれました。

『外郎売 抜粋』  
ひとつへぎへぎに へぎほしはしかみ  
盆豆 盆米 盆ごぼう  
つみ蓼 つみ豆 つみ山椒  
書写山の社僧正  
粉米の生噛み 粉米の生噛み  
こん粉米の生噛み  
縹子 緋縹子 縹子 縹珍  
親も嘉平 子も嘉平 親嘉平  
子嘉平 子嘉平 親嘉平  
古栗の木の古切り口  
雨合羽か番合羽か  
貴様の脚絆も皮脚絆  
われらが脚絆も皮脚絆

## 平成 29 年 総会報告

東京支部副支部長  
江原 美規子

5 月 14 日(日)アルカディア市ヶ谷において東京支部総会が、参加者 136 名の出席により開催されました。来賓として母校小池良彦校長先生、同窓会本部より竹花光子同窓会長、桜田智子、小林真里枝副会長にご出席を賜りました。

第一部の公演は、朗読家として活躍されている齊藤由織氏(高校 27 回生)による朗読、「本朝うた語り抄」より『信太妻』が語られました。

第一部の総会は、神長副支部長の司会により開会、校歌斉唱後、前支部日より発行後連絡のあった物故者に、謹んで黙祷を捧げました。議事に先立ち 28 年度濱田支部長より「同窓会の厳しい課題の解決に向けて一年間取り組んできた。東京支部は大きな方向転換期を迎えている。本日の総会に改変を期待する」との挨拶がありました。続いて小池校長先生と竹花同窓会長より「祝辞を賜り、母校創立百十周年記念事業の内容を」紹介頂きました。



濱田支部長(左)と浅野議長



小池校長先生

## 傘寿の皆様からのお手紙

総会終了後、傘寿の高校八回生の皆様から温かいお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします。

紙面の都合上、一部割愛させていただきます。

### ■朝倉 明子様

この度は、総会で傘寿を祝っていただき、ありがとうございます。希望と誇りを持って入学し、青春のひとときを共有した同窓生からのお祝いはとてもうれしく思いました。支部長濱田さん手作りの盛花が壇上に並べられ、お好きなものに自分の名前カードをつけてくださいとのこと、15名の80歳は乙女心にかえり、うきうきと選びました。楽しい思い出でした。

### ■富田 百々代様

先日は傘寿のお祝いをして戴きありがとうございます。今まで、先輩達が祝いのステージに並び姿を目にするたびに、感動しておりました。私は早くに連れ合いを亡くし、仕事第一で家庭を守り青息吐息の日々でした。二葉のお役を引き受けることもできず、申し訳なく思っております。こうして傘寿まで生きてこられたことに驚いています。これは二葉で育てていただいた「素直であれ」「本気で働け」「ありがとうを思え」の精神が、私の生きる力となってくれたのだと思っています。心のこもった手作りの小さな花束を、ほどいて水盤に一本一本生けてやりました。見事に元気でした。水を

をかえるたびに、楽しく充実した総会の一日を思い出しています。本当に有難うございました。

### ■東 征様

お心のこもったあたたかい傘寿のお祝いをしていただき、ありがとうございます。花束のカサブランカの香りがよこびを添えてくれました。

私事ですが、東京同窓会には明治生まれの母、姉一人、そして私と四人が縁をいただき、日本青年館に三人の姉妹が同席したことなど、思い出されます。共通の話題、誇り、二葉魂です。同期会の活性化と会員相互の協力のもと、同窓会のみますの発展を祈念し、御礼いたします。

### ■藤森 道子様

傘寿祝いの温かい言葉、卓上花、後日送られてきた写真、至れり尽くせりのおもてなし、本当に有難うございました。

総会時の青木武子さんのお話、27年前の平成2年、高校八回生3人が記録係として、支部だより「二葉」の発行スタートに関わったことを思い出しました。原稿集めから紙面のレイアウトまで、苦心が報われた瞬間でした。

毎年、当然のこととして参加してきた総会ですが、特に今回は、会員減少や財政難の中、何とか支部を存続しようという役員や会員の皆さんの情熱が伝わってきて、胸が熱くなりました。

若い会員が増加しますように祈りながら、本当に長い間お世話になりました。

### ■宮川 秀世様

役員のみな様、総会はお疲れ様でした。私も八回生のために傘寿の会を催してくださいます、ありがとうございます。まだ、お花は元気にしています。

同期会「八葉会」は50回の長きに亘り続けて参りましたが、6月6日を以て幕を閉じることになりました。

諏訪市のホテルで開かれた最終回の八葉会には、全国から86人が出席しました。同会2回目の記念誌も発行いたしました。学び合い語り合い、50回を重ねた会は、新聞でも報道され、盛会のうちに幕

を閉じました。

最後に、東京支部への希望ですが、総会の際の講演会は今後とも存続してください。

### ■匿名

年会費2千円は大賛成です。もう50年以上も経ち、当時は5千円以上の価値だと思いましたが、ぜひがんばって役員様よろしく願います。少し思ったのですが「募金箱」を入口に置かれると、私も少しでも入れたくなります。



若々しく美しい傘寿の皆様

輝く同窓生③

# 「東京支部だより」の立ち上げ

高女 36 回生 青木 武子

五月十四日に東京支部総会に伺いました。市ヶ谷駅を出ると、随所に会場までの案内板を持った同窓生の方が立っておられました。通り掛りの人の中には「諏訪湖のそばの学校なのね」と言ってしまう方もいました。高女の参加者は、三十四回生の矢崎さんとこの四月で卒業を迎えた三十六回生の私だけでした。

してあります。第一号には、大先輩の藤原てい先生に昭和天皇の御大喪の礼に参列された事を書いていただきました。その御子息でお茶の水女子大学教授で、数々の名言を残されている藤原正彦先生の御講演を掲載させていただいたこともあります。

私は昭和二十一年に二葉の専攻科を出て長地中学校(現岡谷東部中学校)の音楽教諭として勤務している時に、後の大蔵事務次官の谷村裕氏の紹介で、大蔵省の役人だった主人と結婚しました。一人の子供にも恵まれました。主人の二度のワシントン勤務にも同行し、子育てと要人達を招いてのホームパーティーを開催するなど、忙しくても貴重な経験をさせていただきました。

同窓会の総会は大変スムーズに進行し、高女の私達一人を丁寧に紹介して下さったり、その手際の良さに感心させられました。

海外生活に疲れた時には、二葉の校門に立って眼下に見える諏訪湖の凜として優しい姿が脳裏に浮かびました。我が諏訪二葉高等学校に幸あれ!



我が諏訪二葉高等学校に幸あれ!



※青木武子様から「二葉 東京支部のあゆみ」(左写真)を拝借しました。平成2年2月1日発行の、B5版18ページからなる大作です。内容は、本部同窓会会長・学校長はじめ多くの先生方・藤原てい氏からの寄稿、総会報告、歴代支部長を迎えての座談会、学年トピックスなど盛りだくさん。中でも、経済企画庁長官高原須美子氏の講演記録は5千字にも及び、役員の皆様の熱意が感じられます。また、東京支部沿革には大正期から昭和・平成に至る沿革がまとめられ、貴重な資料になっています。

- 「東京支部沿革」より抜粋**
- ・大正12年5月 総会
  - ・昭和18年5月 太平洋戦争により一時休止
  - ・昭和20年5月 東京大空襲により名簿と記録すべて焼失
  - ・昭和25年4月 再結成大会
  - ・その後毎年総会開催



## 母校だより

### 創立 110 周年記念式典関連事業

#### 【記念式典】

日時 10月14日(土)  
・記念式典 午前9時40分～10時40分  
・記念講演 午前11時～12時30分  
二世 井上松次郎氏(能楽師 狂言方和泉流)  
狂言解説、体験付実演、狂言披露



会場 岡谷市カノラホール  
※詳細は後日公表される諏訪二葉高校同窓会ホームページをご覧ください。

【10年誌刊行】付「初代校長 岩垂今朝吉先生を偲ぶ」(別冊)  
100年誌以降の10年を記録としてまとめたもの。非売品。式典で参加者に配布。

【第10回記念ロビーコンサート】  
日時 8月12日(土) 午前10時30分～12時  
会場 諏訪二葉高校玄関ロビー  
演奏 諏訪二葉高校音楽部(合唱)、高橋ちえ子(リードオルガン)、林詩乃(チェロ)、小口希代子(ピアノ)他

【同窓会ホームページ全面リニューアル、教育環境整備】

・二葉生もお点前披露 諏訪不言会初釜  
1月21日諏訪不言会が初釜を行い1、2年生人が参加した。同会は諏訪高女で茶を通して情操教育に取り組んだ教育者奥田正造の教えを受け継いでいる。

・第72回国民体育大会スケート競技  
1月29日に行われた少年男子1万円で、原田佳祐(諏訪二葉高校3年)は3位となった。

・上諏訪駅周辺の商店街を盛り上げる「古本カフェ」  
諏訪二葉、諏訪清陵、諏訪実業、下諏訪向陽の生徒12人でつくる「Team Suwaction(チームスワクション)」が4月1日午前10時から「古本カフェ」を行った。

**ご寄付をいただきました**

- ・6回生有志の皆様から……………5万円
- ・7回生有志の方から……………5万円
- ・8回生八葉会様から……………23万円
- ・27回生有志の方から……………5万円

皆さまありがとうございます。心よりお礼申し上げます。ご厚意に応えられるよう、有意義に使わせていただきます。

### 同窓生の今（29回生）

高校29回生 和田靖子

高校29回生は昨年度同窓会の会計を担当しました。故郷を離れて40年、二葉の先輩諸姉妹の方々と密な時間を過ごし、その生真面目さ、情の厚さ、純粹さは15才から3年間心の奥に刻み込まれた精神的故郷にあったことを再認識しました。会計担当の2名を含む29回生に今を尋ねてみました。

まず、港区の日本赤十字本社勤務の内田眞理子さん。

「日赤といえば、二葉生にとっては角間橋の先にそびえていた諏訪赤十字病院が思い浮かぶのではないのでしょうか？何かあれば日赤であり、大なり小なりお世話にならなかつた人はいないのではと思います。現在私はその母体である日本赤十字社本社内、日本赤十字社病院長連盟で事務局長補佐をしています。全国には諏訪のような日赤所管病院が大小92あり、その92名の院長が私のボスです。業務内容は一言でいえば病院のチアアップ。国の医療制度改革の下、医療提供側を取り巻く環境は大変厳しい状況で経営者の院長が元気でないと病院も元気がなく、医療を提供する力が衰えます。世界に誇る素晴らしい医療保険制度を持ち、どこでも良質な医療を享受できることは、当り前のことではな

く、医療提供者の努力と献身に支えられています。さらに日赤の使命である国内外救護活動においても有機的に動くためには病院間の連携と親睦を深める事が必要で、微力ながら私はそのつなぎ役として仕事をしています。二葉の同窓生にも医療関係者が大勢おり、現在諏訪湖畔に移転した諏訪日赤の看護部長は29回生の宮坂佐和子さん、全国日赤看護部長会副会長も務められ、さらに同期の金子ゆかり諏訪市長は県議時代に諏訪日赤の委員も歴任されています。薬剤師、看護師、技師の方々にも同窓生が多く、優秀な同窓生のお陰で社内で鼻を高くさせてもらっています」。

眞理子さん、ありがとうございます。

先日の同窓会東京支部総会は「アルカディア市ヶ谷」で開催されましたが、ここを紹介してくれたいのが重野かよさんです。

「東京のど真ん中にあるこの会館は、そもそもは私立学校教職員

の福利厚生のため昭和33年に建てられたものですが、今は建て替えられ、広く一般に利用されています。この会館の隣に私立の幼稚園から大学、専修まで各種学校の全

国団体の事務局が入る別館があり、私は大学卒業以来この中の私立中高の事務局に勤め、気がついてたらお局(笑)。諏訪清陵高校も同窓会がこの会館を利用して見かけ、市ヶ谷駅から徒歩3分という立地に加え、何より民間ホテルより安価な点から提案させていただきます。お役に立てて幸いです」。

財政難の同窓会にとってアルカディアで総会を開催できたことは正に天の助けかよさんの尽力に心から感謝します。

最後に旧会計担当の和田靖子から一言。

「私は電機メーカで翻訳に従事した後、米国の翻訳会社の日本支社を設立。電気電子といった技術翻訳の世界にどっぷり35年？翻訳という仕事は1文字訳して10円、20円という世界。手書きの時代からタイプライター、ワープロ、パソコン、インターネットの時代を経て、この先は機械翻訳も本格化？時代の変遷とともに唯一変わらないのは、1文字に目一杯の情熱を注げる仲間の存在かと。社員5名は全責女性、シングルマザーも数人。彼女たちの生活を守ることも私の責務かもしれません。気が付くと二葉から女子大、女子ばかりのメーカ翻訳部門と、ずっと女性社会に身を置き、女性の優秀さ、逞しさを、そして共に働く心地よさを存分に味わってきた気がします。最後に少々宣伝、昨年からディズニーの幼児向け英語教材を翻訳中。お子様、お孫様へのプレゼントにご検討ください！」

## ～地方創生 ふるさと諏訪からのご案内～

諏訪市への移住に興味のある皆さんへ

住居、雇用、介護などの様子を聞いてみませんか!!

- ◆日時 平成29年9月14日(木) 午後1時30分から(1時間半程度)
- ◆会場 銀座NAGANO  
東京都中央区銀座 5-6-5 NOCO 2F TEL 03-6274-6015  
東京メトロ銀座駅 A1・B5 出口から徒歩 1分、JR 有楽町駅から徒歩 7分
- ◆内容 移住プロモーションビデオの上映・移住施策(補助金)のご案内等
- ◆対象 諏訪二葉高校・諏訪清陵高校を卒業され首都圏にお住まいの方
- ◆申込み 不要 当日、直接会場へ(事前に連絡頂いた方にはお席を用意します)
- ◆問合せ 諏訪市 秘書広報課 TEL 0266-52-4141 内線 350 担当 池上宗男

E-mail: hisyokoho@city.suwa.lg.jp

参加者には諏訪を偲ぶ  
記念品を進呈します

一押し<sup>®</sup>の県産品を  
販売していま～す!



## 平成 30 年 定期総会のお知らせ

日時:平成 30 年 5 月 19 日(土) 午前 10 時～午後 3 時  
 会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館) 市ヶ谷駅徒歩 2 分  
 東京都千代田区九段北 4-2-25 電話 03-6685-0541  
 会費:5,000 円(昼食パーティー)

- 内容:1 総会  
 平成 29 年度事業報告、決算報告、監査報告  
 平成 30 年度役員紹介、事業計画(案)、予算(案)  
 2 講演 「二葉の 22 年」  
 二木 六徳氏(元諏訪二葉高校美術科教師)  
 3 茶話会  
 ※詳細と申し込みは、平成 30 年 3 月末ご案内します。



### 二木 六徳氏 MUTSUMORI FUTATSUGI

昭和9年、長野県南安曇郡三郷村に生まれる。昭和34年、東京芸術大学美術学部油画科卒業後、長野県の高校教師となる。諏訪二葉高校には昭和37年から22年間勤務。娘の誕生以来、絵本の世界に興味を持ち生徒にも絵本を作らせる。「絵本の世界」(らくだ出版)に「父の詩画集」連載。「あきくんとかみなりドンくん」(ポプラ社)、「にしいるのマガタマ」(そしえて)、「感性があぶない」(毎日新聞社)の表紙・挿絵を描く。信濃毎日新聞に「諏訪の四季」(絵と文)を1年間連載。イルフ童画館初代館長。

## 平成 29 年度 幹事会のお知らせ

日時:11 月 12 日(日)  
 午前 9 時～12 時  
 会場:主婦会館プラザエフ  
 四ツ谷駅麴町口徒歩 1 分  
 東京都千代田区六番町 15  
 電話 03-3265-8111  
 内容:1 平成 29 年定期総会報告  
 2 平成 29 年度支部活動について  
 3 平成 30 年度に向けて  
 総会アンケート結果報告  
 4 その他  
 ※幹事の皆様には後日ご案内します。

## 「いちんな会」のこと

高校 17 回生 松岡 節子

## 同期会報告

私達17回生は、昨年古希を迎えました。11月18日(金)、古希を祝う同期会を開催。東京スカイツリータウンの中華レストランにて、秋晴れの絶景と粋なランチを楽しみながら親交を深めました。北海道、仙台、諏訪からの参加者もあり、出席者11名が華やかで楽しい特別な時間を過ごしました。同期会は、卒業して23年目の平成10年にスタート。その後2年に1度開催しています。出席者は常に13人前後。今回は古希を機会に一人でも出席者が増えれば、と願って全員に通知しました。しかし残念な事に今までと変わらない状況でした。親の介護、自身の健康、仕事の都合等忙しい日々様です。17回生が支部長の年は、多くの方の協力があり感激したものでした。出席の方が交流のある友人に参加のお誘いの声掛けをし、それをきっかけに出席してみようと思う方が出たできれば、と思っています。



## 編集後記

◆子ども時代を信州で過ごした私たちにとつて、関東の夏は辛いものがあります。皆様も、諏訪の涼しい夜が恋しく思われるのではないのでしょうか。◆昨年度に引き続き、今回も東京支部の全員の皆様に「支部だより」をお送りしています。維持費改定をご理解いただけますよう、お願いいたします。◆7ページには、諏訪市の情報を広告として掲載いたしました。◆今回、

役員の皆様は二葉の思い出の場所を聞いたところ、様々な懐かしい場所が出てきました。会員の皆様にもそれぞれに思い出に残る場所があることだと思いますが、感受性豊かな時期を過ごした3年間は、いつまでも心に残り色褪せません。◆二葉で過ごしたことの有り難さを共有できるのは、同窓会ならでのこと。今後も同窓会東京支部の継続にご協力いただけますよう、お願いいたします。(村松)

物故者名簿は、平成29年5月30日より改正個人情報保護法が施行されましたので、今回から掲載を差し控えて頂きます。ご逝去された皆様には、謹んでご冥福をお祈りいたします。なお、お問合せは下記の支部長・役員にお願いいたします。

## 【平成 29 年度役員連絡先】

役職	氏名	電話・FAX
支部長	五味のりほ	
副支部長	村松多寿子	
副支部長	江原美規子	
副支部長	神長こぎく	
事務局	瀧田 由織	



## 母校のアルバム

